

# **2017年度(2018年3月期) 決算説明会**

**2018年4月26日**

**株式会社アドバンテスト  
常務執行役員 藤田 敦司**

## ご注意

### ◆会計基準について

本プレゼンテーション資料に記載されている実績や見通し数値は、国際会計基準（IFRS）に基づいて作成しています。

### ◆将来の見通しに関する記述について

本プレゼンテーション資料およびアドバンテスト代表者が口頭にて提供する情報には、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれています。  
これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているもの又は暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されています。

### ◆本資料の利用について

本プレゼンテーション資料に記載されている情報は、各国の著作権法、特許法、商標法、意匠法等の知的財産権法その他の法律及び各種条約で保護されています。事前に当社の文書による承諾を得ない限り、法律によって明示的に認められる範囲を超えて、これらの情報を使用（改変、複製、転用等）することを禁止します。

**ADVANTEST.**

## アジェンダ

# ■ 2017年度決算報告

# ■ 2018年度業績予想

**ADVANTEST.**

## FY17業績概要

(億円)

	FY16	FY17	前年度比	
			増減額	増減率
受注高	1,647	2,478	+831	+50.5%
売上高	1,559	2,072	+513	+32.9%
売上総利益	897	1,066	+168	+18.8%
売上総利益率	57.6%	51.4%	-6.2pts	
営業利益	139	245	+106	+76.1%
営業利益率	8.9%	11.8%	+2.9pts	
税引前利益	150	243	+93	+61.6%
当期利益	142	181	+39	+27.5%
当期利益率	9.1%	8.7%	-0.4pts	
受注残	422	828	+406	+96.1%
1株当たり配当金	25円	32円	+7円	
為替レート	1米ドル	108円	111円	3円 円安
	1ユーロ	119円	129円	10円 円安

**ADVANTEST.**

2018/4/26

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

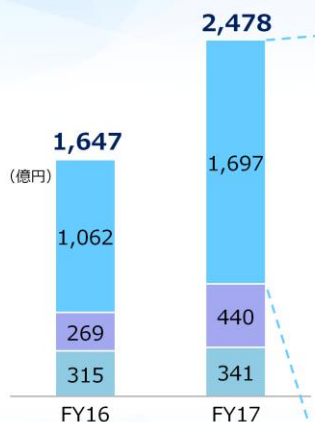
4

### ○ 2017年度の業績概要

- 受注高 前年度比50.5%増の 2,478億円
- 売上高 前年度比32.9%増の 2,072億円
- テスタ市場の好調、特にメモリ・テスタ市場の拡大を受け、2006年度以来の良好な受注水準
- 社内努力もあり、4Qに当初見込みを超えた売上を達成、これにより売上高も2006年度以来の2,000億円台に到達
- 営業利益 前年度比76.1%増の 245億円
- 製品ミックスの悪化などで売上総利益率は前年度比下がったが、増収効果により、2007年度以来の営業利益率10%超え
- 当期利益 前年度比27.5%増の 181億円
- 1株当たり配当金は、1月時点の予想では年間26円でしたが、4Q業績が予想より良好だったことで、前年度比7円増配の32円、下期は23円

# FY17受注高実績

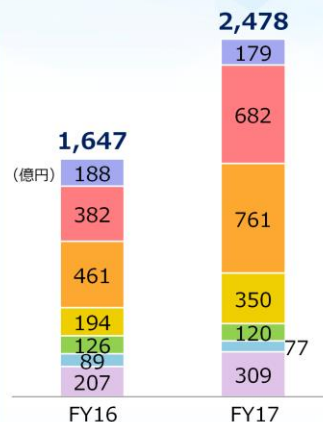
【事業セグメント別】



【半導体・部品テストシステム内訳】



【地域別】



※合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

**ADVANTEST.**

2018/4/26

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

5

## ○ 事業セグメント別、地域別の通期受注実績

### ○ 半導体・部品テストシステム事業

- ・ 前年度比60%増 1,697億円
- ・ 旺盛なデータセンター投資を背景としたメモリ需要の伸び、3D NANDに代表されるメモリのハイエンド化を背景に、メモリ・テスト受注が倍増
- ・ 非メモリ・テストも、車載、ディスプレイ向けが通年好調だったほか、モバイル関連も下期に復調し、堅調な受注となった

### ○ メカトロニクス関連事業

- ・ 前年度比64%増 440億円
- ・ メモリ・テスト需要に連動し、デバイス・インタフェース投資も活発

### ○ サービス他事業

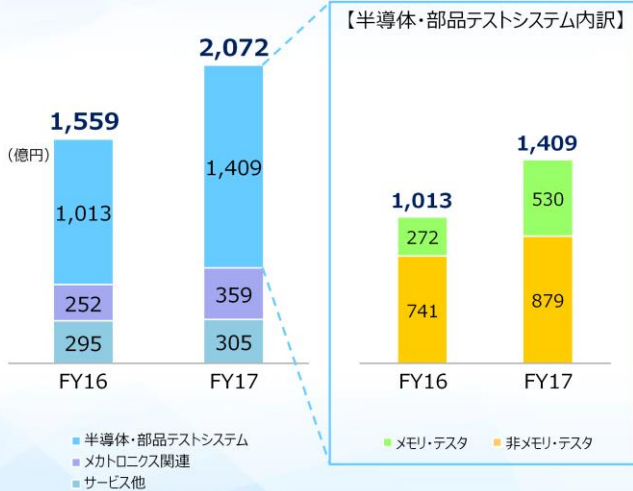
- ・ 前年度比8%増 341億円

### ○ 地域別

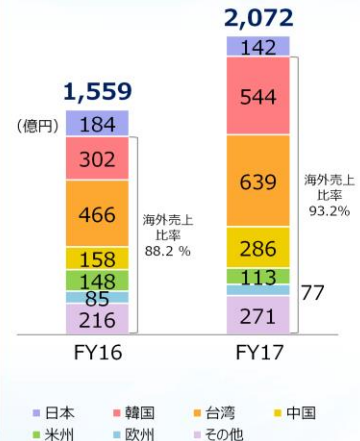
- ・ 韓国、台湾、中国、東南アジアを含むその他地域と、半導体量産拠点多い地域で軒並み増加

# FY17売上高実績

## 【事業セグメント別】



## 【地域別】



※合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

**ADVANTEST.**

2018/4/26

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

6

### ○ 事業セグメント別、地域別の通期売上実績

- ・ 各セグメントの売上増減要因は受注とほぼ同様

### ○ 半導体・部品テストシステム事業

- ・ 前年度比39%増 1,409億円

### ○ メカトロニクス関連事業

- ・ 前年度比43%増 359億円

### ○ サービス他事業

- ・ 前年度比3%増 305億円

### ○ 地域別

- ・ 海外半導体メーカーのテスト積極投資を受け、通期の海外売上比率 93.2%

## 四半期業績推移

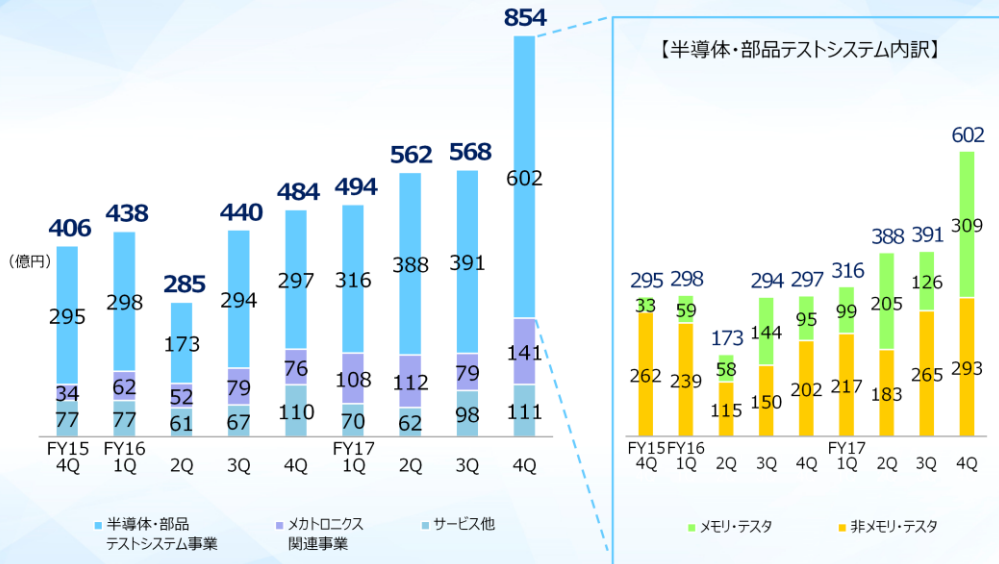
	FY16		FY17			前期比		前年同期比	
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	増減額	増減率	増減額	増減率
受注高	484	494	562	568	854	+286	+50.4%	+370	+76.5%
売上高	483	407	477	509	679	+171	+33.5%	+196	+40.5%
売上総利益	253	206	249	232	379	+145	+62.5%	+125	+49.4%
売上総利益率	52.4%	50.6%	52.1%	45.8%	55.7%	+9.9pts		+3.3pts	
営業利益	46	22	52	32	139	+106	+328.1%	+92	+200.0%
営業利益率	9.5%	5.5%	10.9%	6.4%	20.4%	+14.0pts		+10.9pts	
税引前四半期利益	53	16	48	34	145	+111	+326.9%	+92	+175.0%
四半期利益	68	10	39	26	106	+81	+317.4%	+38	+55.7%
四半期利益率	14.1%	2.4%	8.2%	5.0%	15.6%	+10.6pts		+1.5pts	
受注残	422	509	594	653	828	+175	+26.8%	+406	+96.1%
為替レート	1米ドル	115円	112円	111円	112円	111円	1円 円高	4円 円高	
	1ユーロ	122円	121円	128円	132円	134円	2円 円安	13円 円安	

**ADVANTEST.**

### ○ 2017年度第4四半期の業績概要

- 受注高 854億円 2000年度2Qに記録した過去最高に迫る四半期受注高
- パソコン関連に大きく需要依存していた2000年代前半と異なり、民生用からインフラ向けまで、メモリからセンサーまでといった、足元の半導体の用途・需要拡大に伴うテスト需要の伸びを反映するもの
- 売上増と売上総利益率改善により、2007年度2Q以来となる営業利益率20%超過、近年最高の四半期業績

## 四半期受注高 事業セグメント別



※合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

ADVANTEST.

2018/4/26

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

8

### ○ 2017年度第4四半期のセグメント別受注高

#### ○ 半導体・部品テストシステム事業

- ・ 前期比54%増 602億円  
うち非メモリ・テスト 293億円  
メモリ・テスト 309億円

- ・ 非メモリ・テストは、ディスプレイ・ドライバ向けが3Qより一段上昇

- ・ メモリ・テストでは、DRAM、フラッシュ均等に強い受注。18年度1Q分の所要を先行受注した商談が一部あり、これが約150億円ほど全体を押し上げ

#### ○ メカトロニクス関連事業

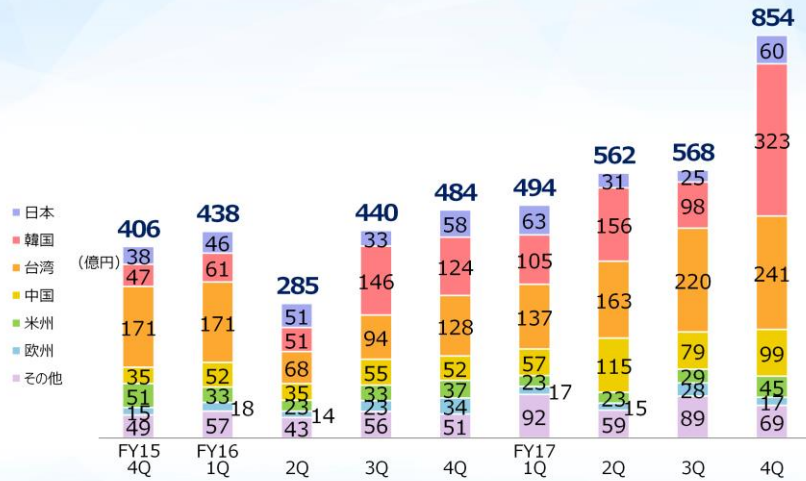
- ・ 前期比80%増 141億円
- ・ メモリ・テスト市場の活況を反映し、こちらも力強い伸び

#### ○ サービス他

- ・ 前期比14%増 111億円



## 四半期受注高 地域(出荷先)別



**ADVANTEST.**

2018/4/26

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

9

### ○ 2017年度第4四半期の地域別受注高

- 前期比で変動が大きかった地域

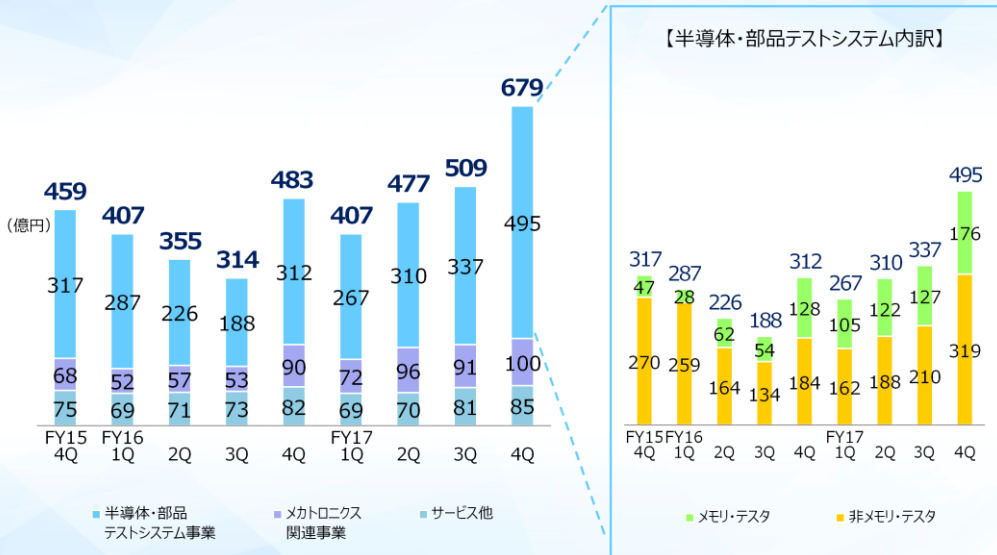
#### 韓国

DRAM、フラッシュ向けが増加

#### 台湾

高速ロジックIC向け、ディスプレイ向けが需要堅調

## 四半期売上高 事業セグメント別



※合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

ADVANTEST.

2018/4/26

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

10

○ 2017年度第4四半期のセグメント別売上高

○ 半導体・部品テストシステム事業

- 前期比47%増 495億円  
うち非メモリ・テスト 319億円  
メモリ・テスト 176億円

- 非メモリ・テストは、モバイル向け、コンピューティング向けが伸びて全体牽引

- メモリ・テストは冒頭で話したとおり、当初見込みを超えた売上を達成

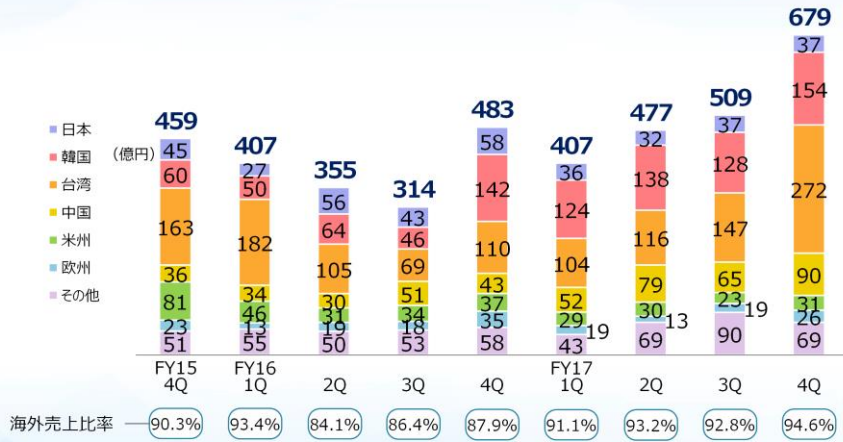
○ メカトロニクス関連事業

- 前期比10%増 100億円

○ サービス他

- 前期比 5%増 85億円

## 四半期売上高 地域(出荷先)別



**ADVANTEST.**

2018/4/26

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

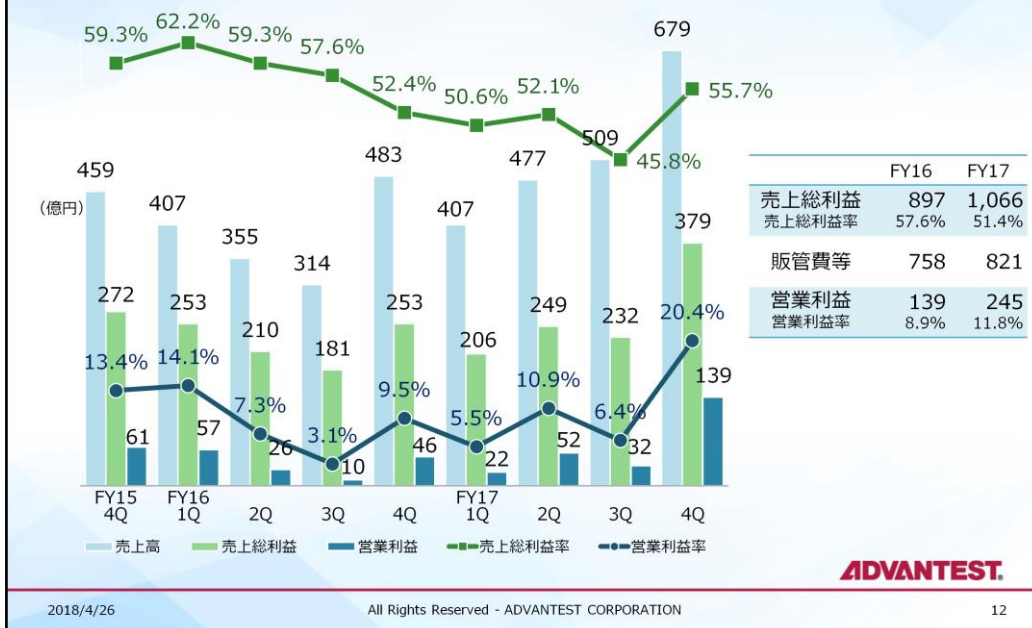
11

### ○ 2017年度第4四半期の地域別売上高

- 台湾  
先端プロセスを適用するハイエンドSoC向けのテスト売上増
- 韓国、中国  
DRAM、フラッシュ向けで増加

これらの結果、海外売上比率 94.6%

## 売上高/売上総利益/営業利益



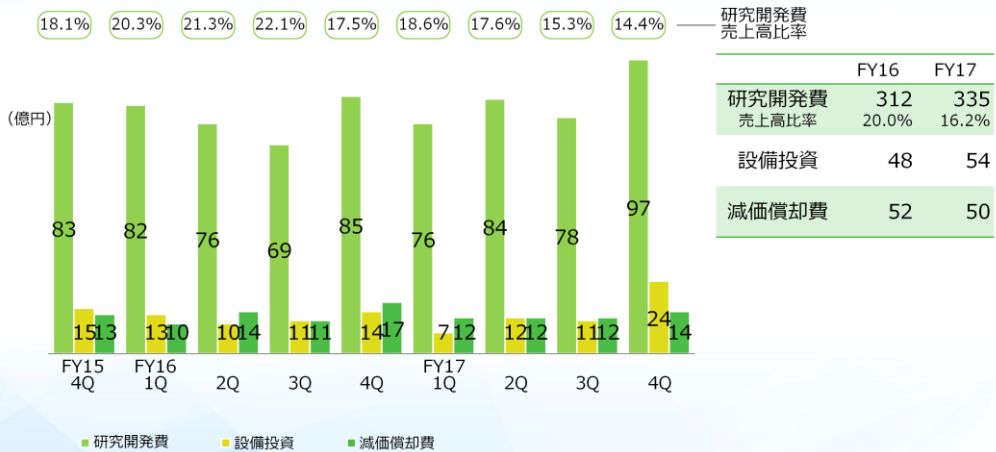
### ○ 2017年度第4四半期の営業利益

- 売上総利益率**  
 前期比 9.9ポイント改善 55.7%  
 3Qのナノテク事業の棚卸資産33億円の評価損影響が無くなったことと、収益性の高いロジックIC向けの売上増により改善
- 販管費等**  
 前期比 39億円増 240億円  
 主に賞与引当金の増加によるもの
- 営業利益**  
 前期比 106億円増 139億円
- 営業利益率**  
 前期比 14.0ポイント改善 20.4%

### ○ 2017年度通期の営業利益

- 売上総利益率**  
 前期比 6.2ポイント悪化 51.4%  
 3Qに計上した評価損33億円と、メモリ・テストやメカトロニクス関連事業の売上構成比上昇が影響
- 営業利益率**  
 前期比 2.9ポイント改善 11.8%  
 販管費効率が改善し、売上総利益率の悪化を補う

## 研究開発費/設備投資/減価償却費



	FY16	FY17
研究開発費	312	335
売上高比率	20.0%	16.2%
設備投資	48	54
減価償却費	52	50

**ADVANTEST.**

2018/4/26

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

13

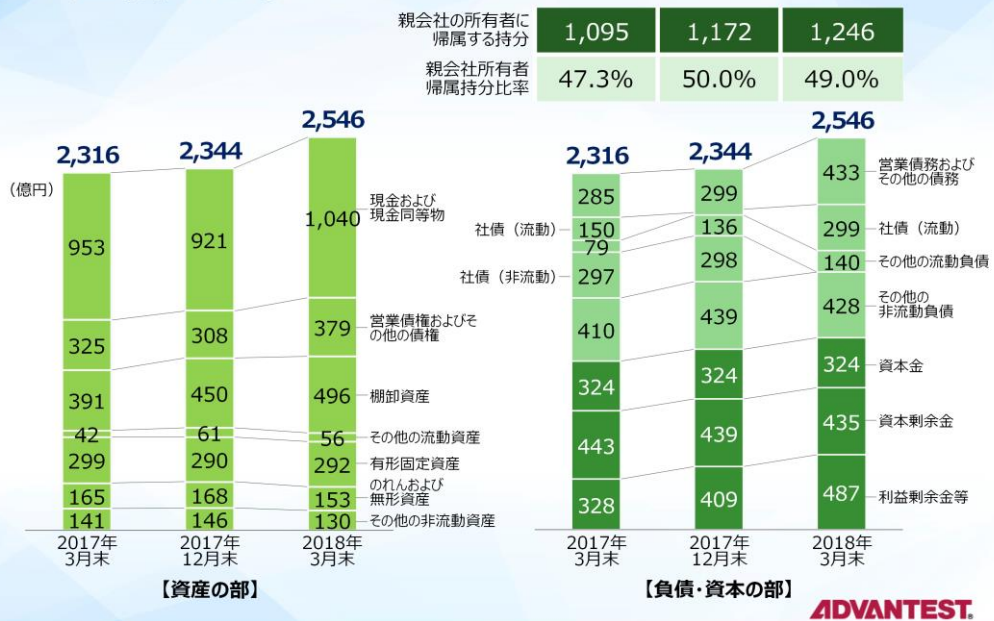
### ○ 2017年度第4四半期の研究開発費等

- 研究開発費 97億円
- 設備投資 24億円
- 減価償却費 14億円

### ○ 2017年度通期

- 研究開発費 335億円
- 設備投資 54億円
- 減価償却費 50億円

# 連結財政状態



2018/4/26

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

14

## ○ 2018年3月末時点のバランス・シート

- 総資産 2,546億円
- 現金および現金同等物  
前年度末比 86億円増 1,040億円
- 棚卸資産  
前年度末比 105億円増 496億円
- 親会社の所有者に帰属する持分 1,246億円
- 親会社所有者帰属持分比率  
前年度末比 1.7ポイント増 49.0%

## アジェンダ

- 2017年度決算報告
- **2018年度業績予想**

**ADVANTEST.**

## CY18年市場予想

	CY17	CY18推定	変化率
非メモリ・テスト市場	約\$2,200M	約\$2,200～ \$2,300M	前年比 0%～5%増
メモリ・テスト市場	約\$750M	約\$900M	前年比 約20%増

- ✓ 18年も半導体テスト市場の活況が持続する見通し
- ✓ 非メモリ・テスト市場は、ハイパフォーマンス・コンピューティング、車載、ディスプレイ関連で堅調な需要を見込む
- ✓ メモリ・テストは今年も市場拡大を想定

**ADVANTEST.**

### ○ CY2018年の市場予想

- 18年の非メモリ・テスト市場は、AIサーバー、仮想通貨のマイニングに使われる、高性能なロジックIC向けのテスト需要の伸びが市場拡大の牽引役とみている
- スマートフォン関連の需要は、一部のスマートフォン向けではハイエンドSoCの搭載が進みテスト需要が伸びるものの、スマートフォン総じては本体販売伸び悩みの影響があり、トータルでは17年フラットで予想
- 17年にホットだった車載向け、液晶/有機ELパネル向けの需要は引き続き強く、これらは前年並みの規模を維持する見込み
- 以上により非メモリ・テストは前回の市場見通しを据え置き、約\$2,200～2,300M
- メモリテスト市場は短期的な需要変動が大きく、18年の予想も流動的なもの。ただし、データセンター向けのメモリ需要は当面強いと思われ、そのためメモリ・テストの需要も拡大基調にあると考えている。そうした中、サーバーに使われるプレミアムDRAMや不揮発性メモリ向けで、顧客各社の投資が伸びていくことを期待
- 18年のメモリ・テスト市場の規模は、3ヶ月前の予想の上限値となる約\$900Mと、現時点では推定



## FY18業績予想

(億円)

	FY17実績	FY18予想	前年度比	
			増減額	増減率
受注高	2,478	2,200	-278	-11.2%
売上高	2,072	2,300	+228	+11.0%
半導体・部品テストシステム事業	1,409	1,600	+191	+13.5%
メカトロニクス関連事業	359	380	+21	+5.9%
サービス他	305	320	+15	+5.0%
営業利益	245	345	+100	+40.9%
営業利益率	11.8%	15.0%	+3.2pts	
税引前利益	243	348	+105	+43.2%
当期利益	181	278	+97	+53.6%
当期利益率	8.7%	12.1%	+3.4pts	
受注残	828	728	-100	+12.1%
為替レート	1米ドル	111円	105円	6円 円高
	1ユーロ	129円	135円	6円 円安

\*IFRS第15号適用に伴う影響は当資料に反映していません

※合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

**ADVANTEST.**

2018/4/26

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

17

### ○ 2018年度の業績予想

- 市場が伸びると予想する一方で、受注予想は前年度比マイナスの2,200億円。これは17年度に前倒し受注が約150億円あったため
- その影響を調整すれば、17年度と同水準の受注高予想となる
- この受注見込みと受注残状況に基づき、今年度も増収を見込む
- 18年度の売上総利益率は、17年度実績とほぼ同水準。今年度も販管費効率を意識しながら、増益に向け取り組む
- 営業利益予想は前年度プラス100億円の345億円、営業利益率予想は15%
- この予想の為替前提は、米ドルが105円、ユーロが135円

## FY18重点施策

### ■ 事業拡大に向けて

<製品供給能力増強>

急峻なテスト需要拡大に追随すべく、部品調達能力を改善

<持続的成長に向けた中期的施策>

AI、5G通信、ADAS等の有望テーマにおける、顧客とのパートナーシップを強化

### ■ 投資等 FY18見通し

- ✓ 研究開発費 : 350億円 (FY17実績 : 335億円)
- ✓ 設備投資 : 70億円 (FY17実績 : 54億円)
- ✓ 減価償却費 : 55億円 (FY17実績 : 50億円)

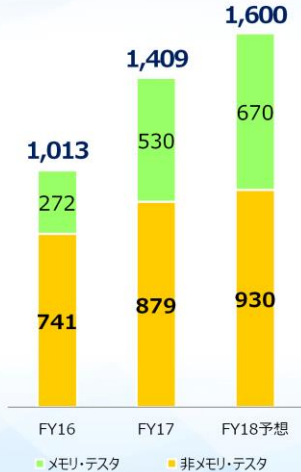
**ADVANTEST.**

### ○ 2018年度のポイント

- 受注高が伸び続ける中、十分な部材確保に向け、引き続き努力
- また、このたび当社はこの先10年の長期経営方針、3カ年の中期経営計画を策定。これに則り、成長を目指す
- この後説明するその中長期方針を進めるため、18年度は研究開発費 350億円、設備投資 70億円、減価償却費 55億円を予定

## FY18見通し（事業別）

半導体・部品テストシステム  
売上高推移（億円）



### ■ 半導体・部品テストシステム

#### <非メモリ・テスト事業>

- ✓ デバイス高性能化を背景に、AIなどのコンピューティング領域やスマートフォン関連領域が伸長
- ✓ 車載半導体関連、ディスプレイ関連も環境は引き続き良好

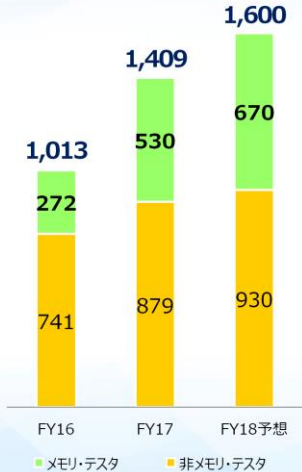
**ADVANTEST.**

### ○ 非メモリ・テスト事業の今期見通し

- スマートフォンやAIサーバーに使われる、ハイエンドなSoCやロジックICの高性能化や微細化が今年一段進展
- その結果、テストタイムの長時間化やテストの一層の複雑化が進む
- それら技術進化に伴う当社テストの売上増を見込む
- 17年度に旺盛に需要が伸びた車載半導体関連、ディスプレイ関連は、引き続き環境良好
- 非メモリ・テスト事業の今期の売上見通しは、17年度比約50億円プラスの930億円

## FY18見通し（事業別）

半導体・部品テストシステム  
売上高推移（億円）



### ■ 半導体・部品テストシステム

#### <メモリ・テスト事業>

- ✓ 生産能力改善・デバイス高速化対応に向け、顧客のDRAM後工程テストの増強投資が継続
- ✓ NANDフラッシュの層数向上、信頼性保証ニーズ拡大に沿ったテスト増強も進展

**ADVANTEST.**

### ○ メモリ・テスト事業の今期見通し

- スーパーサイクルとも言われる中、メモリ・テスト市場の成長が続いている
- この市場のNo.1ポジションを活かし、売上をさらに伸ばす
- DRAMでは、サーバー用DRAMへの強い需要を背景に、DRAM後工程テストの投資が安定的に続く見通し
- 64層や72層の3D NAND量産に向けたテスト投資、NANDの信頼性を保証するためのバーインテストへの投資も、底堅く続く見込み
- 17年度は、3D NANDなど不揮発性メモリ関連の売上とDRAM向けの売上はほぼ同規模、今年度もそのトレンドが続く見通し
- メモリ・テスト事業の今期の売上予想は、前年度から約140億円の上積みとなる670億円

## FY18見通し（事業別）

メカトロニクス関連 売上高推移（億円）



### ■ メカトロニクス関連

- ✓ プローブ・カード事業の拡大
- ✓ メモリ向け・車載向けハンドラ需要も増加
- ✓ ナノテク事業の底打ち

サービス他 売上高推移（億円）



### ■ サービス他

- ✓ SSDテストの成長がセグメント増収に貢献

**ADVANTEST.**

2018/4/26

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

21

### ○ メカトロニクス関連、サービス他事業の今期見通し

- メモリ・ハンドラ、車載向けハンドラ需要が強く伸びており、売上を伸ばしていきたい
- ナノテクも、不調だった17年度から底打ちの見通し
- メカトロニクス関連の今年度の売上予想は 380億円
- サービス他事業の今年度の売上予想は 320億円
- 中古販売ビジネスやサービス契約収入は若干の伸びだが、SSDテストの成長もあり、セグメント増収を見込む

## サマリー

- ✓ 2018年もテスト市場の活況を見込む中、一段の業績伸長を目指す
- ✓ 高水準なテスト需要が継続する中、さらなる部品調達能力改善を図る
- ✓ AI、5G通信、ADAS等の有望テーマで顧客とのパートナーシップを強化
- ✓ 長期経営方針、FY18を初年度とする3カ年の中期経営計画を新規策定。社員一丸で顧客価値創造と企業価値向上に取り組む

**ADVANTEST.**

### ○ サマリー

- 以上、2017年度の業績、2018年のテスト市場見通し、2018年度の当社の事業見通しについて、お話ししました